

高等学校 令和 6 年度（1 学年用）教科国語科目現代の国語

教 科： 国語科 目： 現代の国語単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 第一学習社 『高等学校 精選 現代の国語』 ）

教科 国語の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】的確な読解に必要な語彙力を身につけ、文章を的確に読むために活用する。
- 【思考力、判断力、表現力等】読解した内容に基づき、自らの考えを論理的に構築し、的確に言語で表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】自分の考えをよりの確に伝わるものにするために、構成や展開、表現方法を工夫し続ける。

科目 現代の国語の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な語彙の知識や、文章を読解するための技能を身に付ける。	論理的に思考して自らの意見を構築し、他者と関わりあうことで伝え合う力を高め、自分の思いや考えをさらに広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしたり、自分の意見をより伝わりやすいものに磨き上げていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
	「生きもの」として生きる(中村 桂子) 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、説明する。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書く。	・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語彙を豊かにし、正しく活用する。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「生きもの」として生きる(中村桂子) ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	6
	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、論理の展開を把握する。 ・本文中の筆者の主張に基づいて自分の考えを構築し、表現の仕方を工夫して書く。	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語彙を豊かにし、正しく活用する。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材：「本当の自分」幻想（平野啓一郎） ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査					【知識及び技能】 ・主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙を身に付けている。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 ・本文が示している内容を、筆者の主張を取り違えないように留意しながら、自らの言葉で表現している。	○	○		1

1 学 期	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 - 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 - 主張と論拠、個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 - 東西の対比関係を用いながら、日本の文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 - 水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	- 日本の文化について、東西の対比関係を用いながら論じる叙述の方法を把握する。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 - 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 - 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 語彙数を増やし、的確に活用し表現するために活用する。 - 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 - 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…水の東西（山崎正和） ・一人1台端末の活用 等												
	ものとことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 - 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 - 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 - 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理する。 - 言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告する。	- 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 - 言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 - 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 - 語彙数を増やし、的確に活用し表現するために活用する。 - 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 - 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 - 読書の意義と効用を理解する。 ・教材…ものとことば ・一人1台端末の活用 等												
	定期考査					【知識及び技能】 - 主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙を身に付けている。 - 文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解している。 - 主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 - 本文が示している内容を、筆者の主張を取り違えないように留意しながら、自らの言葉で表現している。								

2	無彩の色（港千尋） 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開を、筆者が論拠としてあげる事例を基に把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとする。 ・本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、ディスカッションを通じて自分の考えを深めようとする。	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・まとめた内容を他者に適切に説明する。 ・語彙数を増やし、的確に活用し表現するために活用する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…無彩の色（港千尋） ・一人1台端末の活用			○	○	【知識及び技能】 ・本文で用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 ・本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	「文化」としての科学（池内了） 【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字や語句・語彙を正しく理解する。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明する。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめる	・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ・語彙数を増やし、的確に活用し表現する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…「文化」としての科学（池内了） ・一人1台端末の活用			○	○	【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					【知識及び技能】 ・主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙を身に付けている。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 ・本文が示している内容を、筆者の主張を取り違えないように留意しながら、自らの言葉で表現している。	○	○		1	

学期	現代の「世論操作」 （林香里）	・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。				【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○			6
	フェアな競争（内田樹）	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・語彙数を増やし、的確に活用し表現するために活用する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。				【知識及び技能】 ・本文中に用いられる主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○	○	○		6
	定期考査					【知識及び技能】 ・主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙を身に付けている。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 ・本文が示している内容を、筆者の主張を取り違えないように留意しながら、自らの言葉で表現している。	○	○			1
	ロビンソン的人間と自然（村岡晋一）	・指導事項 ・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語彙数を増やし、的確に活用し表現するために活用する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。				【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容や構成を叙述を基に捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、共通点を説明しようとしている。	○	○	○		8

高等学校 令和 6 年度（1 学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 第一学習社 『高等学校 精選 言語文化』 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】的確な読解に必要な語彙力を身につけ、文章を的確に読むために活用する。

【思考力、判断力、表現力等】読解した内容に基づき、自らの考えを論理的に構築し、的確に言語で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えをよりの確に伝わるものにするために、構成や展開、表現方法を工夫し続ける。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
	古文の学習・古文を読むために 1・2 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 ・歴史的仮名遣いを知り、現代語との違いを理解する。 ・十品詞と活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史的仮名遣いを正しく読み書きできる。 ・各品詞の特徴を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深める。	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・歴史的仮名遣いをはじめとする、現代語と古語の違いを把握する。 ・各品詞の特徴を理解し、「活用」の概念を把握する。 ・教材・古文の学習 ・一人 1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・現代語と古語の違いを理解している。 ・各品詞の特徴を理解し、「活用」の概念を把握している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 ・歴史的仮名遣いの留意事項に基づき、古語を正しく音読している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深めている。	○	○		4
	古文の学習・古文を読むために 3 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 ・用言の活用の種類と活用形を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各品詞の特徴を説明できる。 ・用言の活用の種類と活用形を、法則に基づいて見分けられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深める。	・現代語との差異を捉えながら、我が国の言語文化の特質について理解する。 ・用言の活用の種類と活用形を理解する。 ・教材・古文を読むために 3 ・一人 1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・現代語と古語の違いを捉えながら、古文における用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文法の法則に基づいて、用言の活用の種類や活用形を正しく指摘できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深めている。	○	○		6
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・本文における、古文読解に必要な語句・語彙を理解し、語彙力をつける。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ、ストーリー展開を具体的に想起しながら読む。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品が持つ文化的背景を踏まえながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、互いに考えたことや感じたことを述べあう。	・古典の文章に慣れるとともに、ストーリー展開や人間描写を読み取る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語彙力をつける。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材・児のそら寝 ・一人 1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・本文における、古文読解に必要な語句・語彙を理解し、語彙力をつけている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、ストーリー展開を具体的に想起しながら理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品が持つ文化的背景を踏まえながら、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、感じたことを互いに表現しあおうとしている。	○	○	○	9

1
学
期

1 学 期	定期考査					【知識及び技能】 ・主な常用漢字を正しく読み書きし、読解に必要な語彙やその文化的背景に関する知識を身に付けている。 ・言葉が担う文化の継承という側面を意識しながら、古語を読むうえでの必要となる、歴史的仮名遣い、活用、品詞に関する知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各場面の情景描写や登場人物に関する叙述を読み取りながら、登場人物の心情の変化を読み取っている。 ・本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 ・古語に関する基本知識を踏まえ、今後の学習に見通しを持っている。	○	○		1
	古文の学習・古文を読むために4	・現代語との差異を捉えながら、我が国の言語文化の特質について理解する。 ・基本的な助動詞の文法的意味と活用形を理解する。 ・教材・古文を読むために4 新精選 古典文法 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・現代語と古語の違いを捉えながら、古文における用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文法の法則に基づいて、助動詞の文法的意味や活用形を正しく指摘できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深めている。	○	○		6
	伊勢物語	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・各章段について、他作品の同類話と読み比べ、解釈を深める。 ・語彙力をつけ、文法事項を正しく理解する。 ・作品の文学史の事項や、歴史的・文化的背景を理解する。 ・教材…伊勢物語 〔歴史の窓〕 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・古文の読解に必要な語彙やその文化的背景に関する知識を身に付けている。 ・古文を正しく読むために、必要な語彙や文法に関する知識を活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査					【知識及び技能】 ・古文の読解に必要な語彙やその文化的背景に関する知識を身に付けている。 ・古文を正しく読むために、必要な語彙や文法に関する知識を活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各場面の情景描写や登場人物に関する叙述を読み取り人物造形を読み取ることができる。 ・本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。	○	○		1

2 学 期	羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・本文における主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・老婆の語る論理を本文の叙述を基に読み解き、それを下人がどのように解釈・判断したか、自らの言葉で説明しようとする。	・各場面の描写や下人に関する叙述から、下人の心理の変化や展開を捉える。 ・老婆の語る論理が下人の決断にどのような影響を与えたかを読み取る。 ・教材…羅生門（芥川龍之介） ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・本文における主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各場面の描写から下人の心情の変化を読み取る。 ・老婆の語る論理が下人の決断にどのような影響を与えたか読み取る。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各場面の情景描写や下人に関する叙述と、下人の心情の変化を関連付けて理解しようとしている。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理に関する叙述と、下人の最終的な行動を関連付け、下人がそのように判断した理由を自らの言葉で説明しようとしている。	○	○	○	8
	漢文の学習 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深める。	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 漢文の学習 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	○	○	○	1
	訓読に親しむ 【知識及び技能】 ・漢文訓読に必要な語彙力をつける。 ・漢文の世界に親しみ、正しく読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・教材 訓読に親しむ漢文を読むために ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・漢文の読解に必要な語彙力をつけている。 ・漢文の世界に親しみ、正しく読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	○	○	○	6
	定期考査					【知識及び技能】 ・古文の読解に必要な語彙やその文化的背景に関する知識を身に付けている。 ・古文を正しく読むために、必要な語彙や文法に関する知識を活用することができる。 ・漢文を読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各場面の情景描写や登場人物に関する叙述を読み取り人物造形を読み取ることができる。 ・本文を読んで理解したことを、読み手の理解が得られるように構成や展開を工夫しながら文章で表現している。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。	○	○		1
	漁父之利 狐借虎威 蛇足 【知識及び技能】 ・漢文訓読に必要な語彙力をつける。 ・漢文の世界に親しみ、正しく読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	・漢文の訓読に慣れる。 ・現在使われている言葉には漢文に由来するものがあることを知る。 ・文章の特徴を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材 漁父之利 狐借虎威、蛇足 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・漢文訓読に必要な語彙力をつけている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	10

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科				地理歴史 科目		歴史総合	
教 科： 地理歴史		科 目： 歴史総合		単位数： 2 単位			
対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組							
使用教科書：（ 『詳述歴史総合』実教出版				）			
使用教材：（ 『新詳歴史総合』浜島書店				）			
教科		地理歴史 の目標：		社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			

【知識及び技能】		現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。					
【思考力、判断力、表現力等】		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
【学びに向かう力、人間性等】		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					

科目		歴史総合 の目標：		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
----	--	-----------	--	---	--	--	--

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配 当 時 数		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度							
1 学 期	第1章 近代化への胎動 1. ヨーロッパの海外進出と市民社会 2. 清の繁栄 3. 東アジア諸国間の貿易 4. 江戸時代の日本の対外政策 5. 江戸時代の社会生活	18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。	18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目し，アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考	前近代の歴史の変化に関わる諸事象について，主体的に追究し，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト 学期の目標設定 考査の振り返り プリント提出	○	○	○	5		
	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成 6. イギリス産業革命 7. アメリカ独立革命 8. フランス革命とナポレオン 9. ウィーン体制	産業革命と交通・通信手段の革新，工業化と世界史上の形成，18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。	産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目し，欧米諸国の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について，主体的に追究し，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		○	○	○	4		
	定期考査					○	○		1		
	10. 19世紀のイギリスとフランス 11. イタリア・ドイツの統一 12. 東方問題と19世紀のロシア 13. アメリカの発展と分裂 14. 世界市場の形成					○	○	○	5		
		第3章 アジアの変容と日本の近代化 15. イスラーム世界の改革と再編 16. 南アジア・東南アジアの改革と再編 17. アヘン戦争の衝撃 18. ゆらぐ幕藩体制 19. 開国 20. 幕末政局と社会変動 21. 新政府の成立と諸改革 22. 富国強兵と文明開化 23. 近代的な国際関係と国境・領土の画定 24. 自由民権運動の高まり 25. 立憲国家の成立	日本の開国，明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成を理解している。	産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とそ の影響などに着目し，アジ ア諸国とその他の国や地域 の動向を比較したり，相互 に関連付けたりするなどし て，アジア諸国と欧米諸国 との関係の変容などを多面 的・多角的に考察し，表現 している。		19世紀半ばのアジアと世界 の歴史の変化に関わる諸事 象について，主体的に追求 し，学習上の課題を意欲的 に解決しようとしている。		○	○	○	11
	定期考査					○		○		1	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合			
教 科：	地理歴史	科 目：	地理総合
対象学年組：	第 1 学年 A 組～ F 組	単位数：	2 単位
使用教科書：	（高等学校新地理総合〔帝国書院〕、新詳高等地図〔帝国書院〕		
使用教材：	（新詳地理資料COMPLETE 2 0 2 4〔帝国書院〕		

教科	地理歴史	の目標：	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
----	------	------	---

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目	地理総合	の目標：	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
----	------	------	---

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 … 地球上の位置と時差（緯度経度、時差など）、地図の役割と種類（地形図、地図表現、GISなど）、現代世界の国家と領域（領域、領域に関する諸問題など）、グローバル化する世界（国際組織、貿易、交通、通信観光など）。	地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。領域、国際関係についての基礎知識を身につけたか。	地図や地理情報システム、諸資料から得られた情報を元に考察する力を養えたか。領域、国際関係についての基礎知識から、地図を用いながら自らの考えを考察できる力を養えたか。	地図や地理情報システム、諸資料から得られた情報や、領域、国際関係についての自らの考えを考察し、現在の課題を見つけようとする態度を持てたか。	定期テスト	○	○	○	7
	第2部 国際理解と国際協力 … 世界の地形と人々の生活（大地形、火山、地震、河川地形、海岸地形、特殊地形など）	世界の地形と人々の生活についての基礎知識を身につけたか。地形について、地図を読み解くための知識や技能を身につけたか。	地形の成因、地形が生活の及ぼす影響について、理解、分析、考察する力が養えたか。	身近な地形などについて、地形と生活がどのような関係にあるか、知ろうとする態度を持てたか。	定期テスト	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	1
	第2部 国際理解と国際協力 … 世界の気候と人々の生活（大気循環、気候因子、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯など）	世界の気候と人々の生活についての基礎知識を身につけたか。気候分布などの気候に関する地図を読み解くための知識や技能を身につけてか。	各気候の成因、気候が生活に及ぼす影響について、理解、分析、考察する力を養えたか。	気候と植生、農業との関係をふまえ、食料生産など、人々の生活との関係を知ろうとする態度が持てたか。	定期テスト	○	○	○	7
	第3部 自然環境と防災 … 災害と防災（地震、火山、気象など）	地形や気候の学習をふまえ、災害と防災に関する基礎知識を身につけたか。ハザードマップなどを読み解くための知識や技能を身につけたか。	災害の原因と起こりうる災害の内容、生活や命を守るための行動などについて、理解、分析、考察する力を養えたか。	身近で起こりうる災害について、自ら考え、防災への対応をとろうとする態度が持てたか。	定期テスト	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
	第2部 国際理解と国際協力 … オセアニア、東南アジア	オセアニア、東南アジアについて、地形や気候などの自然環境、民族、宗教、農業、工業、地域課題などの基礎知識や、地域地図を読み解く技能を身につけたか。	オセアニア、東南アジアについて、地域が持つ特徴と、現在ある地域の課題との関係を理解、分析、考察する力を養えたか。	自分とオセアニア、東南アジアの間には、どんな関わりがあるのか、それを知り考えようとする態度が持てたか。	定期テスト、夏季課題	○	○	○	7
	第2部 国際理解と国際協力 … 西アジア、南アジア	西アジア、南アジアについて、地形や気候などの自然環境、民族、宗教、農業、工業、地域課題などの基礎知識や、地域地図を読み解く技能を身につけたか。	西アジア、南アジアについて、地域が持つ特徴と、現在ある地域の課題との関係を理解、分析、考察する力を養えたか。	自分と西アジア、南アジアの間には、どんな関わりがあるのか、それを知り考えようとする態度が持てたか。	定期テスト、夏季課題	○	○	○	6

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和 6 年度（1 学年用） 教科				数学		科目		数学 I	
教 科：		数 学		科 目：		数 学 I			
対 象 学 年 組：		第 1 学 年		A 組～		F 組			
使 用 教 科 書：		(数 学 I 数 研 出 版				)			
使 用 教 材：		(4STEP, 青チャート				)			
教科		数学		の 目 標：		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
【 知 識 及 び 技 能 】						数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】						数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】						数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
科目		数学 I		の 目 標：		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	指導内容	評価基準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	第1章 数と式 第1節 式の計算 1 多項式 2 多項式の加法と減法、乗法 3 因数分解 発 3次式の展開と因数分解 問題 第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 発 対称式と基本対称式 発 2重根号 第3節 実数 6 1次不等式 7 1次不等式の利用 研 絶対値と場合分け 問題 演習問題	(1) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。	(1) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。	(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	知：振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思：小テスト、定期テスト、課題テスト 態①②：4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○	○	○	18
	第2章 集合と命題 1 集合 2 命題と条件 3 命題と証明 発 命題「すべて」「ある」 問題 問題演習	(1) 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。	(1) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。		知：振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思：小テス、定期テスト、課題テスト 態①②：4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導	○	○	○	8
	定期考查					○	○		1
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ 研 グラフの移動 3 2次関数の最大と最小 研 定義域が変化する最大 4 2次関数の決定 問題	(1) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 二次関数の最大値や最小値を求めることができる。	(1) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることが		知：振り返りシート、小テスト、定期テスト、課題テスト 思：小テスト、課題テスト、定期テスト 態①②：4STEP課題、WINSTEP課題、長期休業等における青チャート課題 ※小テストの結果は指導等に生かす。	○	○	○	7
	定期考查					○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校		令和6年度（1学年用）		教科	数学	科目	数学A
教科：	数学	科目：	数学A	単位数：	2	単位	
対象学年組：第1学年A組～F組							
使用教科書：（数学A 数研出版）							
使用教材：（完成ノート（4STEP）, WinSTEP, 青チャート）							
教科				数学の目標：			
【知識及び技能】				数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】				数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】				数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
科目				数学Aの目標：			
				数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	準備 集合 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1 集合の要素の個数 研究 3つの集合の和集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 円順列・重複順列 5 組合せ 研究 重複組合せ 問題	(1) 和集合や補集合について理解し、要素の個数を公式やベン図を用いて求めることができる。 (1) 樹形図、和の法則、積の法則を用いて場合の数を求めることができる。 順列、円順列、重複順列の公式を理解し、条件が付く場合にも適切に処理ができる。 組合せ、条件付き組合せ、同じものを含む順列の公式を利用することができる。	(1) ベン図を利用し、集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。 (1) 場合の数を適切に捉え考察することができる。 条件が付く順列や円順列、さらには重複順列の考察ができる。 組合せの総数、条件付き組合せ、同じものを含む順列を考察し処理することができる。	(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	知識・技能 定期テスト・課題テスト・解き直しレポート（期限厳守） 思考・判断・表現 定期テスト・課題テスト・解き直し（期限厳守） 主体的に学習に取り組む態度 完成ノート・WinSTEP・青チャート	○	○	○	10
	定期考查					○	○		1
	第2節 確率 6 事象と確率 7 確率の基本性質 8 独立な試行の確率 9 反復試行の確率 10 条件付き確率 研究 原因の確率 11 期待値 問題 演習問題	(1) 確率の意味、試行や事象を理解し、確率の求め方がわかる。 確率の基本性質を理解し、積事象、和事象、余事象の確率を求めることができる。 独立試行、反復試行、条件付き確率を公式を用いて求めることができる。 期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。	(1) 不確実な事象を、同様に確からしいという概念のもとに、数量的に捉えることができる。 確率の性質を一般的に考察することができる。 既習の知識を用いて独立試行、反復試行、条件付き確率について考察することができる。 結果が不確定の中でどの選択が有理かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察できる。	(1) 自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている。 理解・学修の過程を振り返るとともに、数学を活用しようとしている。 問題解決に当たって、粘り強く考え、解決策を導こうとしている。	知識・技能 定期テスト・課題テスト・解き直しレポート（期限厳守） 思考・判断・表現 定期テスト・課題テスト・解き直し（期限厳守） 主体的に学習に取り組む態度 完成ノート・WinSTEP・青チャート	○	○	○	10
	定期考查					○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科

理科

科目

物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

使用教科書：（物理基礎〔数研・物基／707〕）

使用教材：（セミナー物理基礎＋物理〔第一学習社〕，レッツトライノート物理基礎〔東京書籍〕，改定版フォトサイエンス物理基礎〔数研出版〕）

教科

理科

の目標：

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目

物理基礎

の目標：

物体の運動と様々なエネルギーに関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	ガイダンス（物理の学習のコツ） 物理量の扱い方Ⅰ（物理量，国際単位系） 物理量の扱い方Ⅱ（有効数字，指数表記） 第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 ベクトル量とスカラー量 合成速度，相対速度 等速直線運動，等加速度直線運動	科学的探究に必要な下記概念（観察，実験に関わる内容をふくむ）の知識・技能を測る。 ・物理量と単位系 ・有効数字の考えかた ・ベクトル量 ・合成速度，相対速度 ・等加速度直線運動	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探求しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・授業内観察	○	○	○	7
	自由落下運動，鉛直投射運動（※小テスト，資料収めは冊講じ対応） 第2章 運動の法則 力の表しかた 重力，ばねの弾性力 重力，ばねの弾性力（フックの法則） つり合いの2力，作用反作用の2力 ニュートンの運動の3法則	・自由落下運動 ・鉛直投射運動 ・力の表しかた ・重力 ・ばねの弾性力 ・ばね定数が示す意味 ・つり合いの2力 ・作用反作用の2力 ・慣性	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探求しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・授業内観察 ・小テスト ・定期考査 ・振り返りシート	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	運動方程式の活用（問題演習） ・1物体の運動方程式 ・斜面上の物体に関する運動方程式 ・2物体の運動方程式 ・定滑車にかかる2物体の運動方程式 圧力，大気圧，水圧，浮力 仕事，仕事をしない力 力学的エネルギー	科学的探究に必要な下記概念（観察，実験に関わる内容をふくむ）の知識・技能を測る。 ・1物体の運動方程式 ・斜面上の物体の運動方程式 ・2物体の運動方程式 ・定滑車と物体の運動方程式 ・圧力，大気圧，水圧，浮力 ・仕事	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探求しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・実験または実習，観察「張力，滑車」（予定） ・授業内観察	○	○	○	7
	・重力による位置エネルギー ・運動エネルギー ・ばねの弾性力のよる位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存則 （※力学的エネルギーが保存されない事例は補講で対応）	・力学的エネルギー（重力による位置エネルギー）（運動エネルギー） （ばねの弾性力による位置エネルギー） ・力学的エネルギー保存則	科学的探究に必要な思考力・判断力・表現力を，観察・実験を通じて，あるいはそれに代わる課題や設問を通じて，総合的に測る。	科学的に探求しようとする態度を養うため，単なる取組や態度の良し悪しだけではなく，自ら積極的に学習に取り組もうとする意欲をふまえつつも，結果として学習成果が改善されているかを客観的に測る。	・授業内観察 ・小テスト ・定期考査 ・ノートまたはワークシート ・振り返りシート	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科

理科

科目

生物基礎

教 科： 理科

科 目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 第一学習社「高等学校 生物基礎」 ）

使用教材：（ 第一学習社「セミナー 生物基礎・生物 2024」 ）

教科

理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目

生物基礎 の目標： 生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	・地球上のさまざまな環境には，多種多様な生物が生息し，生物は多様であることを理解する。 ・生物に共通してみられる特徴は，進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであることを理解する。	・地球上のさまざまな環境には，多種多様な生物が生息しており，生物は多様であることを理解している。 共通の祖先が長い年月の間に変化して，生物が多様化したことを理解している。 ・いろいろな細胞小器官の働きの概要を理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いを理解している。	・細胞や生物体の成り立ちについて，観察に取り組むことができ，観察結果をレポートなどにまとめることができる。 ・生物にみられる特徴について説明できる。 ・すべての生物に共通する特徴がある理由を説明できる。	・細胞の特徴について、主体的に見いだそうとしている。 ・観察結果をまとめ，積極的に説明しようとしている。 ・生物に共通してみられる特徴と，その由来について積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	7
	・代謝には同化と異化があること，また，代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 ・光合成は，光エネルギーによってATPをつくり，このエネルギーによって有機物を合成することを理解する。 ・呼吸は酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され，ATPがつくられることを理解する。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。	・代謝には同化と異化があること，また，代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解している。 ・光合成と呼吸では，共にATPの合成が行われていることを理解している。 ・酵素の特徴を理解し，代謝は，酵素によって円滑に進行することを理解している。	・代謝とは何か説明できる。 ・光合成や呼吸において，ATPが利用される過程と，担う役割について説明できる。 ・複数の化学反応からなる代謝の過程が，酵素の働きかけで，順を追って円滑に進行するしくみを説明できる。	・資料や実験結果からわかることを積極的に読み取っている。 ・代謝について，資料からわかることを積極的に説明している。 ・カタラーゼを用いた実験について，手順を考え積極的に関わっている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	・遺伝子とDNAと染色体の関係を理解する。 ・DNAの構造の特徴を見だし，DNAの基本的な構造を理解する。 ・塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることを理解する。 ・多細胞生物では，分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。 ・間期の間にDNAが複製され，細胞分裂を通じて均等に分配されることで，細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。	遺伝子とDNAと染色体の関係、DNAの構造の特徴、DNAの半保存的複製を理解している。 ・細胞分裂時，DNAは2個の娘細胞に等しく分配されることを理解している。 ・間期の間にDNAが複製され，その後分裂期に移行することを理解している。また，細胞分裂の各過程で起こる現象を理解している。	・DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できる。 ・DNAの構造の特徴を説明できる。 ・DNAの複製のしくみ（半保存的複製）を説明できる。 ・塩基の相補性に着目して，DNAの複製のしくみを説明できる。	・ヌクレオチド鎖の塩基どうしの結合にみられる特徴を，積極的に説明しようとしている。 ・DNAの複製について，積極的に説明しようとしている。 ・タマネギの根端を用いた細胞分裂の観察に学習事項と関連付けて積極的に取り組んでいる。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	7
	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し，酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 ・タンパク質は，多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し，酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解している。 ・タンパク質は，多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解している。	・タンパク質の様々な働きや、基本的な構造や性質について説明できる。	・タンパク質の様々な働きや、基本的な構造や性質について、積極的に説明しようとしている。	授業への取り組み状況、実験・観察レポートや課題での思考・判断・表現	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用）教科保健体育科目体育

教科：保健体育科目：体育

単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

使用教科書：（新高等保健体育大修館書店）

使用教材：（図説新高等保健大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2024 大修館書店）

教科保健体育の目標：

体育や保健の見方・考え方を働かせ課題を発見し合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目体育の目標：

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	領域1…ソフトボール 領域2…バスケットボール	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。	・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	・実技テスト ・振り返りシート ・議論・グループでの話し合い	○	○	○	6
	領域1…ソフトボール 領域2…バスケットボール	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。	・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	・実技テスト ・振り返りシート ・議論・グループでの話し合い	○	○	○	8
	定期考査								
	領域1…ソフトボール 領域2…バスケットボール 体力テスト	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。	・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	・実技テスト ・振り返りシート ・議論・グループでの話し合い	○	○	○	8
	領域1…ソフトボール・水泳 領域2…バスケットボール・水泳	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けることができる。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができる。	・生涯にわたって継続して運動に親しむことができる。 ・健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。	・実技テスト ・振り返りシート ・議論・グループでの話し合い	○	○	○	6
	定期考査								

年間授業計画

高等学校 令和 6 年度（1 学年用）教科保健体育 科目保健

教 科：保健体育科 目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（新高等保健体育（大修館 保体702））

使用教材：（図説 新高等保健））

教科	保健体育	の目標：	体育や保健の見方・考え方を働かせ課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		

科目保健

の目標：

保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	指導内容	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学期	・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり	健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方に変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 発表、プレゼンテーション 学習プリント・ノート	○	○	○	3
	・健康に関する意思決定・行動選択 ・現代における感染症の問題 ・感染症の予防	健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 発表、プレゼンテーション 学習プリント・ノート	○	○	○	3
	定期考査								
	・性感染症・エイズとその予防 ・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動・運動と健康	健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 発表、プレゼンテーション 学習プリント・ノート	○	○	○	3
	・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 発表、プレゼンテーション 学習プリント・ノート	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科

芸術

科目

音楽Ⅰ

教科：芸術

科目：音楽Ⅰ

単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

使用教科書：（MOUSA1 教育芸術社）

使用教材：（高校生のための音楽研究ノート（教育芸術社））

教科

芸術

の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目

音楽Ⅰ

の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	指導内容	表現			鑑賞	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1 学 期	①校歌 ・楽譜写譜 ・歌唱 ・合唱	○		○	○	・校歌の楽譜を正しく写譜することができる。 ・校歌を3番まで暗記して正しい音程で歌うことができる。 ・合唱曲について歌詞の内容を深く理解し歌うことができる。	・写譜することにより、楽譜のルールを正しく理解することができる。 ・混声四部の各パートの音で歌うことができる。 ・合唱としての校歌の演奏を全体の音楽表現	・美しく写譜できている。 ・生き生きと歌唱している。 ・生き生きと協調性をもって合唱している。	・プリント提出 ・実技試験	○	○	○	4
	②楽典 ・音符と譜表 ・譜表の構造 ・拍子 ・音名（日、英、独、伊） ・幹音、派生音 ・音部記号 ・ハ音記号 ・拍子の種類				○	・高校生の音楽研究ノートを活用する。 ・楽典の基本的知識を身につける。 ・左記の内容を理解する。	・楽譜のルールを知り、読み書きできるようになる。 （日、独、英、伊） ・リズムに対する理解を深める。（3学期含む）	・美しく記入できている。 ・楽譜を読むことの大切さに気付き、深く読み取ろうとする。 ・リズムを正しく演奏できる。	・プリント提出 ・実技試験 ・筆記試験	○	○	○	6
	③音楽史 ・古代ギリシャの音楽 ・グラスハープと音律 ・ピュタゴラス音律 ・中世の音楽 ・ネウマ譜（楽譜の歴史） ・現代の楽譜と古代の楽譜	○			○	・古代ギリシャ時代の洞察を深め、音楽の発展の根幹を理解する。 ・世界史、数学、国語などとリンクし、幅広い視点で学習する。	・音律や楽譜の発展について得た知識を、深く楽譜を読む力に結びつけて音楽を捕えることができる。 ・人類の文化としての音楽を歴史から学ぶ。	・ワークシートに積極的に感想を記入する。 ・想像したことを文章にすることができる。	・プリント提出 ・筆記試験	○	○	○	8
	④合唱コンクールに向けて ・発声 ・ハーモニー ・表現 ・ピアノとのバランス	○	○			・楽譜を正しく読み、美しい発音で歌うことができる。 ・他パートの音をよく聞き、美しいハーモニーを求めて歌うことができる。	・他者と一つの音楽を作り上げるための工夫をすることができる。 ・他者と声質を合わせようと努める。 ・総合的なバランス感覚を身につけようとする。	・合唱のクオリティを高めようと努力する姿勢がみられる。 ・客観的に音楽表現を高めようと追及できる。	・実技試験 ・合唱コンクール	○	○	○	6

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科				芸術	科目	美術 I
教 科：		芸 術		科 目：		美術 I
対 象：		第 1 学 年		A 組 ～ F 組		
使用教科書：		（ 光村「美術1」		）		
使用教材：		（		）		
教科		芸 術 の 目 標：		芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
【 知 識 及 び 技 能 】		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。				
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目		美術 I の 目 標：		美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	指導内容	表現			鑑賞	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		絵 彫	デ	映		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	4月 アートカード鑑賞 創作4コマ漫画	○			○	アートカード、創作4コマの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。	アートカード、創作4コマを通して創造的な表現をする事ができ、工夫したり、作品の完成度を高める事ができたか。	アートカード、創作4コマを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身についているか。	鑑賞 プリン ト・記述	○	○	○	4
	5月 CDジャケットのデザイン		○			CDジャケットのデザインの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。	CDジャケットのデザインを通して創造的な表現をする事ができ、工夫したり、作品の完成度を高める事ができたか。	CDジャケットのデザインを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身についているか。	実技・作品	○	○	○	6
	6月 CDジャケットのデザイン・雑誌の	○	○		○	CDジャケットのデザイン、雑誌のコラージュの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。	CDジャケットのデザイン、雑誌のコラージュを通して創造的な表現をする事ができ、工夫したり、作品の完成度を高める事ができたか。	CDジャケットのデザインを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身についているか。	実技・作品 鑑賞	○	○	○	8
	7月 プッシュカラーステンド	○				プッシュカラーステンドの特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けているか。	プッシュカラーステンドを通して創造的な表現をする事ができ、工夫したり、作品の完成度を高める事ができたか。	プッシュカラーステンドを通して主体的に創造しようとする意欲、関心、態度が身についているか。	実技・作品	○	○	○	6

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科

芸術

科目

書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：2単位

対象学年組：第1学年C組～F組

使用教科書：（東京書籍『書道Ⅰ』）

使用教材：（ワークシート・プリント教材）

教科

書道Ⅰの目標：

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目

書道Ⅰの目標：

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	指導内容	表現			鑑賞	評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		漢 仮	漢	仮		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学期	□ 書写から書道へ ・ 書の体験 ・ 文字の変遷		○			・ 用具用材の特徴と表現効果とのかかわりについて理解している。 ・ 目的や用途に即した効果的表現、楷書と仮名、行書と仮名の調和した表現の仕方を身に付けている。	中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさなど意図に基づいた表現について構想し工夫している。	漢字仮名交じりの表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	書体や表現方法の違いに留意しながら、自らの意図に応じて文字や書体を選んで表現しようとしているかどうか見取る。	○	○	○	4
	■ 漢字の書 古典に基づく学習		○		○	日本および中国の文字の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書の美しさや良さを味わい、捉えている。	書の美しさや良さを甘受し、作品の書の意味や価値について考えながら、鑑賞の幅広い学習に取り組もうとしている。	書への向き合い方として臨書の態度と方法について理解をし、その定義と書道用語が習得できているかを確認する。	○	○	○	6
	表現を比べよう 楷書・『九成宮醴泉銘』 ・『孔子廟堂碑』 ・『雁塔聖教序』 ・『自書告身』 (・『牛橛造像記』)		○		○	・ 楷書古典の書風や書体と用筆・運筆との関わりを理解している。 ・ 楷書古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書古典の線質や字形を生かした表現を身に付けている。	・ 楷書古典の書風や書体に適った用筆や運筆、字形、構成について工夫している。 ・ 楷書古典の価値とその根拠について考え、書の美しさや良さを味わい捉えている。	・ 自身の意図に基づく表現を楷書の表現の特質のなかで捉え、幅広い表現の学習活層に主体的に取り組もうとしている。 ・ 楷書古典の美しさや良さを甘受して幅広い鑑賞の学習に取り込もうとしている。	楷書の古典作品を幅広く臨書する活動を通じて、個々の作品の特性を踏まえた表現ができているかどうかを見取る。	○	○	○	8
	表現を比べよう 行書 ・『蘭亭序』 ・『風信帖』 隷書・特徴と基本用筆 曹全碑 漢字の書の創作		○		○	・ 線質・字形・構成等の表現方法と風趣との関わり、日本および中国の書の伝統と文化について理解している。 ・ 漢字の書の古典に基づく基本的な用筆や運筆、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	・ 行書や隷書古典の書風や書体に適った用筆や運筆、字形、構成について工夫している。 ・ 行書や隷書古典の価値とその根拠について考え、書の美しさや良さを味わい捉えている。	・ 自身の意図に基づく表現を行隷書の表現の特質のなかで捉え、幅広い表現の学習活層に主体的に取り組もうとしている。 ・ 行書や隷書古典の美しさや良さを甘受して幅広い鑑賞の学習に取り込もうとしている。	行・隷書の古典作品を幅広く臨書する活動および創作活動を通じて、個々の作品の特性を踏まえた表現ができているかどうかを見取る。	○	○	○	6

・ 目的や用途に即した効果的表現、楷書と仮名、行書と仮名の調和した表現の仕方を身に付けている。

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和 6 年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーション I 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（BLUE MARBLE English Communication I（数研出版））

使用教材：（教科書準拠ワークブック（啓林館）、速読英熟語(Z会)、Focus on Listening(エミル））

教科 外国語 の目標： 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標： 英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定された目標の実現を目指した指導を通して、上記の【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、【学びに向かう力、人間性等】に示す資質・能力を育成する。

聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと
ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

	指導内容	領域					評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 や	話 発	書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	Lesson 1 Friendships in the Digital Age		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（S＋V, S＋V＋C, S＋V＋O, S＋V＋O＋O, S＋V＋O＋C, There＋V＋S の表現）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、デジタル時代における友達付き合いやソーシャルメディアのメリット・デメリットについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. デジタル時代における友達付き合いについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（デジタル時代における友達付き合い）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. デジタル時代における友達付き合いについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（デジタル時代における友達付き合い）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14
	Lesson 2 Expos: Past, Present, and Future		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（現在[過去]完了形・完了進行形、未来を表す表現）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、過去の万博や万博を開催するメリットについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 万博とその開催意義について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（万博とその開催意義）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. 万博とその開催意義について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（万博とその開催意義）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。		○	○	○	13
	定期考査										○	○		1
	Lesson 3 The Fascinating World of a Professional Storyteller		○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（助動詞を含む受動態, used to do）、本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、講談とそれに対する旭堂南春の思いについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 講談と旭堂南春について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（講談と旭堂南春）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. 講談と旭堂南春について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（講談と旭堂南春）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14

	Lesson 4 Changing Behavior in Unique Ways	○	○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（不定詞／動名詞／分詞, seem to do, 使役動詞+0+do, S+V+0+to do）, 本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開の理解を基に, 仕掛けとソーシャルデザインについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 仕掛けとソーシャルデザインについて, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（仕掛けとソーシャルデザイン）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. 仕掛けとソーシャルデザインについて, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（仕掛けとソーシャルデザイン）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。		○	○	○	13
	定期考査										○	○		1
2 学 期	Lesson 5 A Journey to Peace	○	○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（知覚動詞・使役動詞を伴うS+V+0+Cの表現, keep doing, S+V+0+if～）, 本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開の理解を基に, ルワンダ内戦と教育に対するマリールイズの考えについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. ルワンダ内戦とマリールイズについて, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（ルワンダ内戦とマリールイズ）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. ルワンダ内戦とマリールイズについて, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（ルワンダ内戦とマリールイズ）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14
	Lesson 6 Humans Evolve with Measurements	○	○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（関係代名詞 who / which / whose, what+S+V, 関係代名詞の非制限用法）, 本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開の理解を基に, 単位の歴史について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. 単位の歴史について, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（単位の歴史）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. 単位の歴史について, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（単位の歴史）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。		○	○	○	13
	定期考査										○	○		1
	Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets	○	○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（関係副詞（when / where / why / how））, 本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開の理解を基に, バイオロギング研究やその研究事例について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. バイオロギング研究について, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（バイオロギング研究）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. バイオロギング研究について, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（バイオロギング研究）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート プレゼンテーション 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	14
	Lesson8 What to Do with Too Many Tourists	○	○	○	○	○	a. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料（仮定法）, 本文の論理展開を理解している。 b. 新出語やKey Phrases, Key Languageの言語材料, 本文の論理展開の理解を基に, オーバーツーリズムの事例やその解決策について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	a. オーバーツーリズムについて, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握している。 b. 各Part 本文の内容（オーバーツーリズム）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしている。	a. オーバーツーリズムについて, 理解を深めるために, 各Part本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとしている。 b. 各Part 本文の内容（オーバーツーリズム）について, 学習した語句や文法事項を用いて, 自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。		○	○	○	13
	定期考査										○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和 6 年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ Vision Quest English Logic and Expression I Advanced（啓林館） ）

使用教材：（ Vision Quest 総合英語 Ultimate 2nd Edition（啓林館） 、Vision Quest New English Grammar 47 （啓林館） ）

教科 外国語 の目標： 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標： 英語学習の特質を踏まえ，以下に示す，話すこと〔やり取り〕，話すこと〔発表〕，書くことの三つの領域別に設定された目標の実現を目指した指導を通して，上記の【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】に示す資質・能力を一体的に育成するとともに，その過程を通して，【学びに向かう力、人間性等】に示す資質・能力を育成する。

話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと
ア 日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合ったり，やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば，ディベートやディスカッションなどの活動を通して，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。	ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。	ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

	指導内容	領域					評価規準			評価方法	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 や	話 発	書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度					
1 学 期	Lesson 1 I want to introduce my new friend.				○	○	様々な疑問文や命令文，感嘆文の意味や用法，相手の発話に応答する表現を理解することができる。情報や考え，気持ちなどを理由とともに書くことができる。	日常生活や日課について，情報や考え，気持ちなどを話すことができる。情報や考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて書くことができる。	日常生活や日課について，情報や考え，気持ちなどを話して伝えようとしている。情報や考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	7
	Lesson 2 How about joining our group?				○	○	文型と動詞の意味や用法，賛成・反対する表現を理解することができる。情報や考え，気持ちなどを理由とともに書くことができる。	学校の授業や行事などについて，情報や考え，気持ちなどを話すことができる。情報や考えを整理し，簡単な語句や文を用いて書くことができる。	学校の授業や行事などについて，情報や考え，気持ちなどを話そうとしている。情報や考えを整理し，簡単な語句や文を用いて書こうとしている。		○	○	○	7
	定期考査										○	○		1
	Lesson 3 I’ m planning a day trip this weekend.				○	○	現在や過去を表す時制の意味や用法，激励や励ます表現を理解することができる。情報や考え，気持ちなどを理由とともに書くことができる。	自分の習慣や週末にしたことについて，情報や考え，気持ちなどを話すことができる。情報や考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて書いている。	自分の習慣や週末にしたことについて，情報や考え，気持ちなどを話そうとしている。情報や考えを整理し，簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 課題テスト 小テスト 小テストに取り組む態度 課題・レポート 振り返りシート 自己評価・他者生徒評価	○	○	○	6
	Lesson 4 Have you ever tried it before?				○	○	現在完了形や現在完了進行形の意味や用法，経験を尋ねる表現を理解することができる。情報や考え，気持ちなどを理由とともに書くことができる。	英語学習の期間や海外の渡航経験などについて，情報や考えなどを話すことができる。情報や考えを整理し，簡単な語句や文を用いて書くことができる。	英語学習の期間や海外の渡航経験などについて，情報や考えを話そうとしている。情報や考えを整理し，簡単な語句や文を用いて書こうとしている。		○	○	○	7
	定期考査										○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報科 目： 情報Ⅰ単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 高校情報Ⅰ Python ）

教科 情報 の目標：

【知 識 及 び 技 能】情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集，処理，表現させる

【思考力、判断力、表現力等】情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。

【学びに向かう力、人間性等】効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して，情報を収集，処理，表現させる	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。	効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 情報社会 情報と情報社会 問題解決の考え方 個人情報とその扱い 知的財産権	・情報や情報社会についての意味を理解する。 ・情報の特徴を理解する。 ・情報社会がもたらした生活やビジネスの変化について学ぶ。 ・インターネットの特質と個人の責任，心構えなどについて学ぶ。 ・コンピュータを利用した犯罪と，被害者にならないための心構えを学ぶ。 ・コンピュータの健康への影響や，情報格差への対応について学ぶ。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度	○	○	○	7
	第2章 情報デザイン コミュニケーションとメディア 情報デザインと表現の工夫 Webページと情報デザイン	・個人情報の流出の実態とその防止方法について学ぶ。 ・個人情報とその保護などについて調べる。 ・メディアの特徴と，メディアリテラシーについて学ぶ。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度	○	○	○	8
		・アナログとデジタルの意味，情報量の単位を学ぶ。 ・AD，DAコンバータについて学ぶ。					
	第3章 デジタル デジタル情報の特徴 数値と文字の表現 演算の仕組み 音の表現 画像の表現	・ペイント系ソフト，ドロー系ソフトについて学ぶ。 ・画像処理ソフトを用いて，様々な画像処理を行う。 ・2進数，10進数，16進数について学ぶ。 ・文字コードについて学ぶ。 ・標準化，量子化，符号化について学ぶ。 ・標準化周波数と量子化の段階数について学ぶ。 ・加法混色と減法混色について実習を通して学ぶ。 ・色のデジタル表現について学ぶ。 ・画像のデジタル化の仕組みについて学ぶ。 ・階調や解像度について学ぶ。 ・動画再生ソフトを用いて再生速度を変える実習を行う。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度	○	○	○	9
	第4章 ネットワーク	・オートシェイプを用いて立体図形を描画する実習を行う。 ・圧縮の必要性和形式について学ぶ。 ・圧縮の仕組みについて学ぶ。 ・音声や画像のデータ量，プリンタの解像度の計算問題を解く。 ・通信速度や補数による計算問題を解く。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第5章 問題解決 データの処理	・表計算ソフトのデータ形式について学ぶ。 ・分析しやすいデータ形式について学ぶ。 ・表計算ソフトの基本的な関数について理解する。 ・表計算ソフトの関数を利用した統計処理実習を行う。 ・表計算ソフトの表を使った情報の視覚化について学ぶ。 ・表計算ソフトを使ったグラフ化などの実習を行う。 ・グラフから情報を読み取る際のポイントについて学ぶ。 ・グラフによる印象の違いや誤解のない表現について学ぶ。 ・地球の温暖化についての問題の解決を図る。 ・問題の明確化，情報の収集，整理・分析，解決策の検討を行う。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度				10
	第5章 問題解決 シミュレーション	・統計とデータの分布について学ぶ ・共分散、標準偏差について学ぶ。 ・時系列分析、回帰分析について学ぶ ・モデル化とシミュレーションについて学ぶ ・確定的モデルについて学ぶ。 ・確率的モデルについて学ぶ。 ・ローンの返済額シミュレーションする方法について学ぶ ・感染症拡大シミュレーションの方法について学ぶ。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度				10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第6章 プログラミング	・アルゴリズムを理解させる。 ・フローチャートの書き方、用途を理解させる。 ・変数を理解させる。 ・順次構造を理解させる。 ・選択構造を理解させる。 ・反復構造を理解させる。 ・配列を理解させる。 ・線形探索を理解させる。 ・二分探索を理解させる。 ・プログラムを作成させる。	課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度				8
			課題提出 小テスト 主体的に取り組む態度				6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70